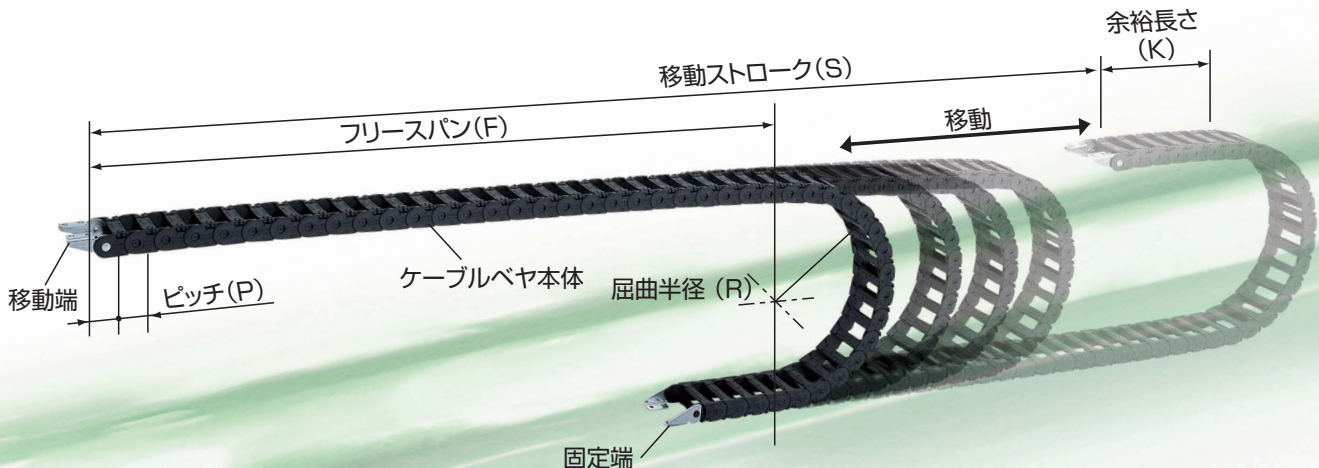


ケーブルベヤ®の働き

ケーブルベヤは、本体内に電線ケーブルや油圧・空圧などのホースを通し、移動する装置と固定端間のケーブル・ホースを確実に支持案内する装置です。屈曲部は一定の半径で一方方向にのみ曲がります。



フリースパン (F)： ケーブルベヤの支点間距離を意味し、品種によって許容できる長さが決まっています。
(仕様一覧表および各能力線図を参照ください)

移動ストローク (S)： 装置の移動部（ケーブルベヤ移動端）が往復運動する2点間の距離です。

余裕長さ (K)： 設置寸法誤差を吸収するためのケーブルベヤの余裕です。

ピッチ (P)： ケーブルベヤの連続するリンクとリンクの間の距離です。そのときの距離をピッチ (P) として示しています。

屈曲半径 (R)： ケーブルベヤは一定方向に一定半径で屈曲します。このときの半径を屈曲半径 (R) として示しています。
(旋回仕様は両方向へ屈曲します。)

支持ローラ： 許容移動ストロークを超えて使用する場合、ケーブルベヤを支持するために支持ローラ（またはプレート）を取付けます。

■ケーブル・ホースの支持案内保護

装置の移動部へケーブル・ホースを接続すると、移動に伴ってケーブル・ホースにねじれ・引張りなどの無理な力が働きます。また、外観も雑然としたものになります。

つばきケーブルベヤは、上図のように装置の固定側に設置された固定端と、移動部位に取付けられた移動端にいたる本体内部にケーブル・ホースを収納し、ケーブル・ホースに無理な力を与えることなく整然と確実に支持案内し、移動ストローク (S) を往復運動します。

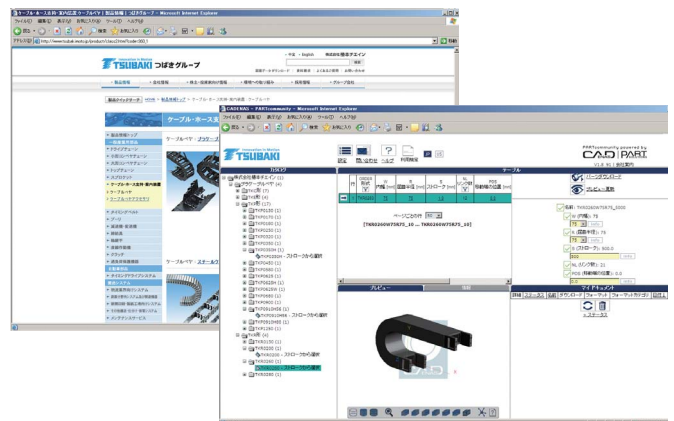
Cut down your construction times!

インターネットからケーブルベヤの2D & 3DCAD データが入手できます！
設計工数の削減に、ぜひご活用ください。

図面データ (CAD データ) はキャデナス・ウェブ・ツール・キャド (株) の CAD 図面ライブラリーサイト「PARTcommunity」へのリンクにより提供いたします。

つばきケーブルベヤの CAD データを2D・3D 形態でダウンロード可能です。

「PARTcommunity」からのダウンロードの際には CADENAS WEB2CAD のユーザー登録が必要です (初回のみ)。



CADENAS

- Easy to connect to PDM and ERP systems.
- The PART solutions catalog can be accessed easily using a button in Autodesk Inventor.
- Detailed chain models are available.

tsubakimoto.jp/chain/cad/

つばきケーブルベヤ CAD データダウンロードサービス